

【目的】言語理解力や社会性が高まり、発達障害が認知される時期に、こどもの特性を早期に発見し、適切な支援を行うことで、幼児の健康の保持及び増進を図る。モデル事業を通して課題を把握し、大田区に適した5歳児健康診査の方法を検討する。

